



2024年12月24日 降誕祭(夜半のミサ)

みことばと共に歩もう、希望の年！
 任司祭
 フィラデルフィ・パヴォール主

南山教会の皆様、あけましておめでとうございませう。初めに言があった。言は神と共にあった。とヨハネによる福音書の言葉を聞いて新しい年に入りました。二〇二四年は、自然災害や戦争、経済危機など不安や恐れが増した年でした。二〇二五年はどうなっていくのだろうか？と考えた時、不安や恐れの中にいる私たちは、今まで以上に、神様とともに過ごす年としなければいけないと感じました。「言は自分を受け入れた人、その名を信じる人々には神の子となる資格を与えた。」とヨハネによる福音書の中に書いてあるからです。世界の政治、国の経済、健康のことなどの心配があると思いますが、信者としては「みことばと共に歩もう」という年明けの決定に招かれています。

今年には通常聖年となっていて「希望の巡礼者」として歩むように励まされます。この希望とは世が与える希望ではなく、神様がお与えになる希望であり、「私たちの間に住まれた」御ひとり子の希望なのです。私たちは、この希望に与り、証をするように呼ばれています。朗読された洗礼者聖ヨハネと同じように。傷ついた世界は様々な恐ろしい方向に向かっていますが「希望の巡礼者」として、光を示すみことばに従い、そして、世界が明るくなるようにその光を照らしながら、日々歩んでまいりましょう。

二〇二五年が希望の年となりましますように！



平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
 第4土曜日 午前10時30分 子供のミサ(ナザレ館)
 火曜日 午後7時
 金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時
 ゆるしの秘跡は各主日ミサ前に受けることができます。

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ前、4時 聖体礼拝)
 日曜日 午前8時・10時・午後6時
 Sunday Mass in English 9:30 am
 (in the Marian Hall)
 ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後2時

駒方寮クリスマスプレゼント

いつくしみの会 相澤あつ子

大崎容子

昨年度末、南山教会にて、信徒の皆様からお預かりしてクリスマスプレゼントを駒方寮の職員の方にお渡ししました。

皆様の沢山のご協力ありがとうございました。

フリーピン支援中止のお知らせ

慈しみの会 泉初美

担当者の泉が長期にわたる奉仕が難しくなりました。

ご準備いただいた方々には大変ご迷惑をおかけいたしました。

心よりお詫び申し上げます。

典礼一口メモ

く香部屋の窓からく 第77回

「典礼音楽」のお話

典礼委員長 新内飛鳥

教会音楽の品位

普遍教会の音楽の伝統は、諸芸術のほかの優れた表現の中でも、はかりしれない価値をもつ宝庫をなしている。それは、とくにことばと結びついた聖歌が、荘厳な典礼の必要ないし不可欠の部分となっているからである。

確かに、聖書も、聖なる教父たちも、ローマ教皇たちも、聖歌の歌唱を大いに称賛してきた。聖ピオ十世を筆頭に近年の教皇たちも、主の礼拝における教会音楽の

奉仕的な役割をいっそう強く明らかにしている。

したがって、教会音楽は、祈りをより味わい深く表現したり心の一致を促進したりすることによって、さらに荘厳さを加えて聖なる祭儀を豊かにすることによって、典礼行為と固く結びつけば結びつくほど、いっそう聖なるものとなる。教会は、ふさわしい特質を備えたものであれば、真の芸術のあらゆる形態を認め、それを神の礼拝の中にとり入れるのである。

それゆえ、聖なる公会議は、教会の伝統と規律の基準と規定を守り、教会音楽の目的である神の栄光と信者の聖化に留意して、以下のことを定める。

荘厳な典礼

神聖な務めが聖なる奉仕者によって執り行われ、会衆が行動的に参加して、聖歌によって荘厳に祝われるとき、典礼行為はいっそう高貴な形態を帯びる。

使用すべき言語については第三十六條、ミサに関しては第五十四條、諸秘跡に関しては第六十三條、聖務日課に関しては第一〇一條の規定が守られなければならない。

音楽教育

音楽教育とその実践が、神学校、男女の修練院、修道会修学院において、さらに他のカトリックの教育機関と学校において重要な教育を実現するために教会音楽の教授に携わる教師は行き届いた養成を受けなければならない。

さらに、適当であれば、教会音楽に関する高等研究機関を設置することが勧められる。

作曲家、聖歌隊員、中でも少年聖歌隊員には、真の典礼教育も施されなければならない。

グレゴリオ聖歌と多声音楽

教会は、グレゴリオ聖歌をローマ典礼に固有の聖歌として認める。したがって、他の同等のものがある場合も、これは典礼行為において首位を占めるべきである。

他の種類の教会音楽、とりわけ多声音楽は、典礼行為の精神に適合するかぎり、第三〇條の規定に

聖堂においては、たえず向上させなければならない。司教と他の司牧者は、歌によって執り行われるいかなる典礼行為においても、第二八條と第三〇條の規定に従って、信者の集会全体が、その固有の行動的参加を表すことが出来るよう注意深く取り計らわなければならない。



従って、典礼祭儀において決して排除されてはならない。グレゴリオ聖歌の楽譜集の規範版が完成されなければならない。加えて、ピオ十世の刷新後に既に出版された楽譜集をさらに構成した版が準備されなければならない。小規模の教会で使用するために、簡単な曲を集めた版を準備することは有益である。

この話の続きは、飛び込みの記事が無ければ次号に掲載の予定です。



2025年1月1日 20歳を祝う



テレジア会の教皇庁許可100周年とテレジア会の来日65周年記念のお祝い

昨年の待降節黙想会とその後のミサで、はつきりと自覚させられた真実を分かち合います。

クリスマスプレゼントの本当の意味は天の父なる神様から救い主イエス様という、一人ひとりに与えられた御独り子というプレゼントです。人生でこれ以上の贈りものがあるでしょうか。

そしてクリスマスに注目すべきはイエス様だけです。この方にかけてがあり、不足することはない、満ち足りるのです。

ああこの世に救い主イエス・キリストを全人類に、そして一人ひとり個人にお与えくださった天の父なる神様、マリアの賛歌に合せて捧げます。

わたしの魂は主をあがめ、わたしの霊は救い主である神を喜びたえます。私たち人類に目を留めてくださいました。主が語られた言葉を必ずその通りになる、と信じるなら、私たちはいつの世にあつても幸いな者となります。力ある方が私たちに偉大なことをしてくださいます。賛美と感謝を捧げます。

皆様がいかがですか。共にこの真実を深く味わって人生を送りましょう。

“主の「降誕」にこころのワンポイント

川原 稔

■主の「降誕」とは？

主のご降誕(クリスマス)は、イエス・キリストがベツレヘムで誕生された出来事を指し、カトリック教会では神が人間の救いのために来られた歴史的瞬間とされています。これは、旧約聖書のメシア到来の予言の成就であり、神が人間との絆を深め、罪と死から救う愛の計画の中心です。

■神の愛の最高の現れ

この出来事は、神の無限の愛の最高の現れです。ヨハネによる福音書3章16節の「神はその独り子をお与えになったほどに世を愛された」という言葉に象徴され、私たちが神に選ばれ、愛されている確かな証拠です。

■謙遜と人間性の尊重

イエス・キリストは貧しい馬小屋で誕生されましたが、これはすべての人を平等に愛する神の姿を示すとともに、謙遜と人間の尊厳の重要性を教えています。

■平和と希望のメッセージ

天使が羊飼いたちに「地には平和」と告げたように、主のご降誕は平和と希望のメッセージを象徴します。イエスは「平和の君」として、深い喜びと調和をもたらすし、和解と愛の大切さを私たちに

示しています。

■神と人との新しい関係

主のご降誕によって、神と人間との関係は新たにされました。神が人々に歩み寄り、共にいてくださるといふ真理は、祈りや日常生活の中で実感されます。

■私たちがへの招き

また、この出来事は私たちがへの愛の招きです。イエスの誕生は愛し合い助け合う呼びかけであり、特に貧しい人々や孤独な人々への配慮を促します。

■永遠の救いへの希望

さらに、主のご降誕は永遠の救いへの希望を示します。イエスは人間として誕生し、十字架の死と復活によって私たちが罪から救いました。クリスマスはその救いの計画の始まりです。

■結び：私たちの生き方への反映

結びとして、主のご降誕は単なる祝祭ではなく、私たちに謙遜、愛、平和、希望をもって生きることを促します。カトリック教会は、クリスマスが神の愛を受け取り、それを他者に分け与える日であることを強調しています。この記念日を通じて、信仰を日々の生活に反映させ、神への感謝を新たにする機会としましょう。

私たちは聖人になれますか「18」レジオマリエ創立者フランクダフ

私たちの仕事における祈り

仕事や任務の中に神のみ旨がある時、それは聖なるものとなります。しかし、それだけでは聖人に成りたい人を十分聖化することは出来ません。単に朝のミサの時だけでなく、常に神に親しく近づけなければいけません。台所を担当しているスペインの修道女は、気が散らないように、主や御母や使徒たちに奉仕していると考えるようにすると語っています。このようにして、彼女の仕事は彼女にとって祈りの偉大な手段となったので、仕事に費やされた時間は一日の中で最も敬虔な時となったのです。

あまり多くの事に気を取られないと、私たちの貧しい心の手の届かないところにあるのかもしれないが、少なくとも自信をもって神の存在について思いをはせるのが良いでしょう。これは、私たちが常に私たちの近くで神を感じることを意味するものではありません。私たちが定期的に祈りをし、頻繁に神のことを考えていけば、思いのままに神に心を向ける良い訓練になります。そうすると、どんなに忙しい時でも、静かに魂を神に向けることができ、私たちはいつも祈ることができる状態となります。



子供部屋 クリスマス会 12月21日



教会学校 クリスマス劇 12月22日

1月5日

報告・連絡事項

1. 1・2月予定確認(信徒代表)

各月第2週に教会周辺清掃。1月5日評議会終了後に納骨堂管理員会、大規模修繕委員会、1月17日マリア会新年会、1月19日ヨセフ会新年会、1月26日75周年記念誌編集委員会、2月15日名古屋教区信徒協50周年記念ミサ・音楽会、2月16日堅信式(日英合同ミサ)

同回心式等について、忙しい中滞りなく終わりました。待降節までに聖堂内後方の照明、聖堂音響を整えることができました。

降誕祭夜半のミサは、17時、19時、21時に開催した。降誕祭日中のミサは7時と10時。時間の変更もあつた。ミサ時間の周知について、来年度は工夫が必要である。

10時のミサ終了後(11時10分頃)聖歌隊の練習中(30分間の予定)にバルコニーに挨拶なく機材等を取りに来られて、聖堂内で音楽を流して踊りだす事があつた。また、

2. テレジア会記念ミサ(典礼委員会)

12月8日(日)10時ミサは、テレジア会の教皇庁許可100周年とテレジア会の来日65周年を記念するミサとしても捧げられた。ミサ後ホールにて祝賀会が開催された。

時間の間違われた方は普段来ていない方が中心だったため、次回は周知方法を工夫したほうが良いかもしれません。21時のミサの参加者が少なかったため、以前のよう

29日名古屋教区全体で「愛の神秘」をテーマとした特別な行事が行われた。この日、イエス・キリストが人間の姿となり私たちに示

汚れについて苦情がありました。普段から南山教会に来ていない外部の方々が起こしたと思われることはいえ、一般的なマナーを守ることができなければ次回からの使用許可は出せない。また、望まないトラブルが起こった際も事前に開催連絡などの周知がされていれば感情的な軋轢が少なくなる傾向もあるため相談、連絡、報告はしっかりとしてください。

3. 待降節の取り組みについて(典礼委員会・典礼奉仕者の会・営繕委員会)

聖堂鐘樓の星の設置は業者に依頼した。聖堂内のクリスマスツリー設置はボランティアで行った。ミサ前に待降節の祈りを行った。14日・15日の黙想会は、パウロ師に行っていた。共同回心式は14日・15日の各ミサで行った。

普段来ていない方々が香部屋等に間違えて入りそうになる例があつたので施錠をするようにします。

12月22日ベトナム語ミサ、12月29日名古屋教区全体で「愛の神秘」をテーマとした特別な行事が行われた。この日、イエス・キリストが人間の姿となり私たちに示

6. 教会の設備について(営繕委員会)

クリスマスツリーの設置及び共

19時は外部の駐車場誘導員を2名配置してトラブル等ありませんでした。駐車場も学園を含めてどうにか足りました。

典礼奉仕者の会より、印象に残っているのは25日朝7時ミサですが、お子様連れ、家族連れの方も来ていた、昨年より人数が多

・大聖堂音響設備が再整備された。音量を上げた場合ハウリングが生じる、また下げた場合音量不足になる為、音響の調整を行なえないようにすることを検討している。



・マイクの取り扱いに関しては、叩かない事とし、「テスト」などの言葉で電源が入っていることを確認するようにお願いしたい。

・教会敷地内の植栽担当の営繕委員より、空き缶・ペットボトル・たばこの吸い殻が多く落ちているとの報告がありました。各評議員の方々から各会の方々にごみの持ち帰り、敷地内禁煙であることをお伝えしてほしい。

・ガスファンヒーターの取り扱いに関して、適正使用の為に「張り紙」をヒーターに貼付したため、確認していただきたい。

・マリア館1階の空調が完全に直ってはいません。ガス漏れ箇所の特定に至っていません。ガスは入れたので使えていますが、次に漏れて使用できなくなるのにどれほどの期間を要するかわかりません。期間によって今後の対応が変わります。

7. 事務員の退職について

教会事務を担当していた職員1名が12月末をもって自らの希望で退職された。後任は未定。当面、月・火曜日の事務所は閉鎖とす

審議・相談事項

1. 2025年度予算について

1月24日までに管区へ予算を提

出する必要がある。2025年度予算は維持費献金、ミサ献金、祭儀献金など収入のほとんどが減少傾向にあり、非常に厳しい予算となっている。もし、削減できそうなら予定があれば削減の提案を頂けると大変ありがたい。

配布資料に基づいて説明がされました。

提案としてコロナ前のおりミサ中に献金袋を廻すことを再開してはどうでしょうか？他の小教区では再開しているところもあるようです。典礼委員会で協議してください。

2. 新型コロナウイルス対策終了の確認(信徒代表)

新型コロナウイルス対策の一部が、今もしなければならぬことのように思われているかもしれない。二酸化炭素濃度の測定値によつては、扉を開放しなければならぬという気持ちがあるかもしれない。すべての新型コロナウイルスの終了を改めて確認したい。現在コロナ対応

資材を保管している告解部屋も本来の姿に戻したい。医師の信者様からも上記内容を支持する発言がありました。

二酸化濃度の測定についてもコロナ以前は通常行っていないので従来どおりに戻して、8時終了後から10時のミサ開始まで換気

をするという指針に変更します。

3. ベビーカー専用の席(大聖堂)設置について(営繕委員会)

聖堂後方の出入りしやすい位置に、ベビーカーと車いす専用の席を設置してはどうか。

最後方席のひざまずき台を撤去するのはどうかという提案が出ました。今後、大規模修繕委員会で具体化を検討する。

4. 菊地枢機卿へのお祝いについて(信徒代表)

12月8日に任命を受けた菊地新枢機卿は、過去に、南山教会と深い関係があった。任命に際して、南山教会からも何かお祝いを送ってはどうかと考える。すでに霊的花束を集めた。このほかに、枢機卿としての活動に活かしてくださいという意味の献金を集めて送るのはいかがでしょうか。

5. その他

全会一致で承認されました。

1月12日の10時ミサ後にクリスマスツリーを片づけます。

歌集等に関して、コロナ対策で保管している分に関して元に戻すかは典礼委員会で協議します。

各会報告

聖歌隊

2月15日に布池教会で行われる行事(信徒協40周年ミサ等13時から)に参加することとなりました。

行事の詳細は後日案内いたします。

典礼奉仕者の会
12月24日(火) 19時ミサ 天使の子供達が奉仕。

1月1日(水) 10時ミサ神の母せ聖マリアでは、祝福者(20歳)の方々がミサの朗読・答唱詩編と奉納を担当。感謝。

2月15日 名古屋教区信徒協50周年ミサ・音楽会に聖歌隊参加。

教会学校
12月22日(日)大聖堂にてクリスマス劇を行いました。

12月24日(火)聖夜ミサで女子が天使の奉仕を行いました。

1月12日(日)始業式、百人一首、坊主めくりの予定。

1月19日(日)餅つき会の予定。

1月26日(日)通常通り。

子供部屋

12月21日(土)クリスマス会を行いました。ミサもお捧げ致しました。

典礼委員会
1月12日(日) 10時ミサ後、ツリーを片づけます。

1月25日(土)典礼委員会を予定しています。

2月16日(日) 10時ミサで堅信式があります。前日の15日にリハーサルがあります。

次回 2月2日

聖年の祈り

天の父よ、あなたは、わたしたちの兄弟、御子イエスにおいて信仰を与え、聖霊によってわたしたちの心に愛の炎を燃え上がらせてくださいました。この信仰と愛によって、神の国の訪れを待ち望む、祝福に満ちた希望が、わたしたちのうちに呼び覚まされますように。

あなたの恵みによって、わたしたちが、福音の種をたゆまず育てる者へと変えられますように。この種によって、新しい天と新しい地への確かな期待をもつて、人類とすべてのものが豊かに成長していきますように。そのとき、悪の力は打ち払われ、あなたの栄光が永遠に光り輝きます。

聖年の恵みによって、希望の巡礼者であるわたしたちのうち、天の宝へのあこがれが呼び覚まされ、あがない主の喜びと平和が全世界に行き渡りますように。永遠にほめたたえられる神であるあなたに、栄光と賛美が世々としえにありましますように。

アーメン。

信者の消息

受洗

おめでとうございます

イザベル 小出 治美
ペトロ岐部 今枝 航
LUCRIS WAHING SANCHEZ

結婚

□お幸せに□

LUCRIS WAHING SANCHEZ □
JEAN MONTEPIO GABINETE

転入

ようこそ

テオフィリス 神原 信幸(岡山教会)
マリア 今井 千恵子(梅田教会)

維持費納入について

維持費の袋は教会事務所に保管しております。

事務所に直接ご納入下さるか、以下の口座にお振込み頂くこともできます。よろしければご利用下さい。

○三菱UFJ銀行八事支店 普通預金 1737813

カトリック南山教会 維持費口

○郵便口座 00880-8-70893

カトリック南山教会

帰天

神の栄光にあずかれますように

パウロ 津田 悦三郎(94歳)
アシジのフランシスコ 松永 隆(71歳)
カタリナ 鷲塚 章代(84歳)

2025年1月・2月行事予定表

	教会典礼暦	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
1月	1(水)神の母聖マリア・世界平和祈願日 5(日)主の公現 12(日)主の洗礼	1(水)新年平和ミサ・10:00成人式 24(火)管区に予算書提出	5(日)小教区宣教司牧評議会 (土)典礼委員会 17(金)マリア会新年会 12(日)中高生会、教会学校始業式 19(日)教会学校餅つき 25(土)子ども部屋 25(土)要約筆記付きミサ (日)ヨセフ会班長会	1(水)世界平和の日 18(土)レジオマリエ名古屋クリア 18(土)~25(土)リスト教一致祈禱週間 19(日)新成人を祝う新年の集い 26(日)世界こども助け合いの日献金
2月	2(日)主の奉獻	16(日)10:00堅信式・日英合同ミサ	1(土)典礼委員会 2(日)小教区宣教司牧評議会 7(金)マリア会例会(懇談会) 15(土)子ども部屋 16(日)ヨセフ会班長会・エマオの会 22(土)要約筆記付きミサ	2(日)城東ブロック会議 5(水)~四旬節愛の献金(四旬節中) 15(土)レジオマリエ名古屋クリア 20(木)司教座聖堂献堂記念日 (日)司祭・修道者金銀祝の祝い